

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果と課題

【結果】

- 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果は、小学校、中学校ともに全教科（国語・算数・数学のA・B、理科）において全国平均をかなり上回り、全国上位の石川県の平均も小学校、中学校共に全教科において上回る状況です。（図1）

また、質問紙の本市として達成目標を掲げている「いじめは、どんな理由があってもいけない」については、「当てはまる」と回答する児童生徒の割合が年々伸びています。しかし、「計画的に勉強する」「将来の夢や目標」の2項目においては、小学校は県平均を下回り、中学校は県平均をわずかに上回る状況です。（図2）

【課題】

- ・各教科の結果と質問紙の結果は密接な関わりがあるため、両面から分析して課題を解決していく必要があります。
- ・活用力のさらなる向上に向け、全ての教職員に、指導力を高めるための研修の充実と若手教職員の授業力向上のための校内研修会（校内OJT）の推進が一層求められます。
- ・学力向上のため、学年全体・学校全体で組織的に取り組み、共通実践できるシステム作りが大切です。
- ・学習の定着には、家庭学習の充実が欠かせません。児童生徒が自発的、計画的に家庭学習に取り組めるように、小中の連携はもとより家庭との連携を図りながら、具体的な支援を行っていく必要があります。
- ・将来への目標設定や堅実な学習習慣が身に付くように、小学校、中学校共に、地域の人材を生かした生き方や職業についての学習（キャリア教育）の充実を図る必要があります。

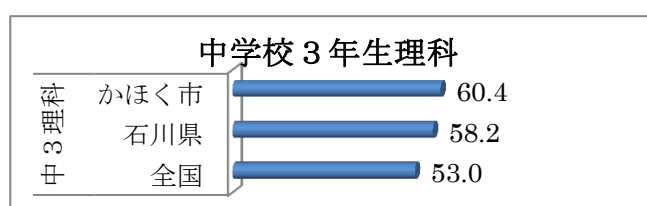
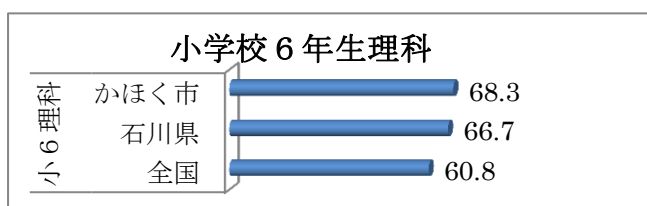
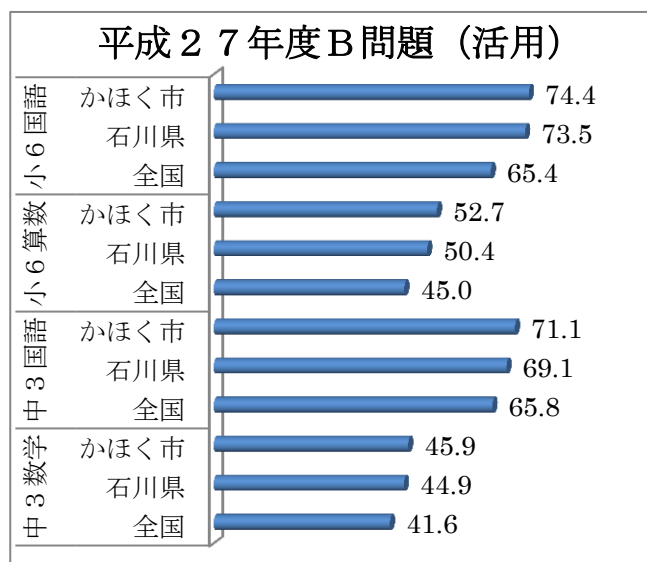
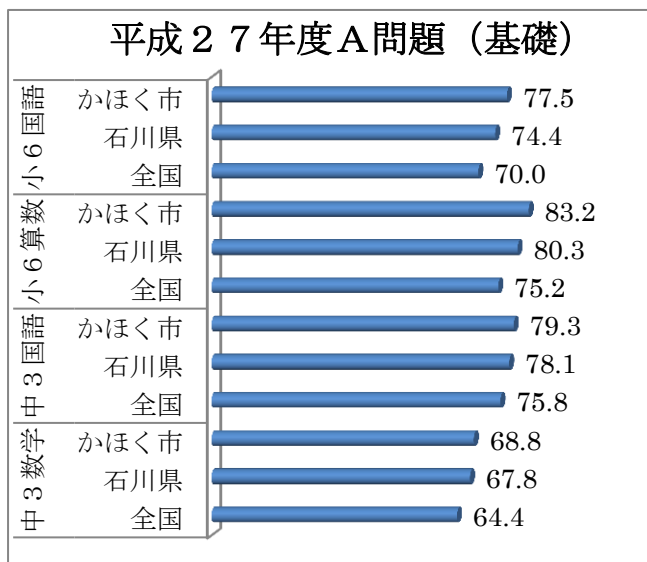
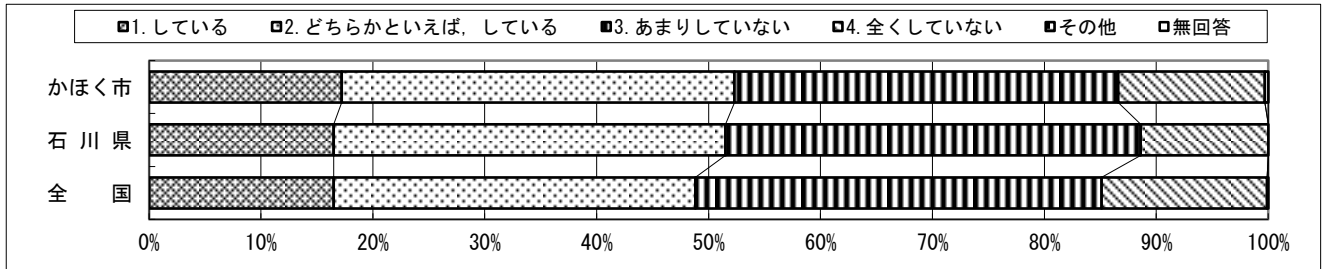
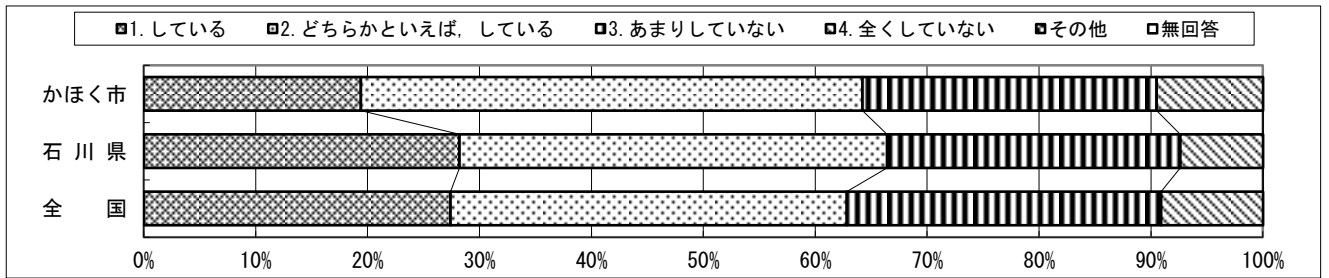


図1 平成27年度の全国学力・学習状況調査平均正答率（%）

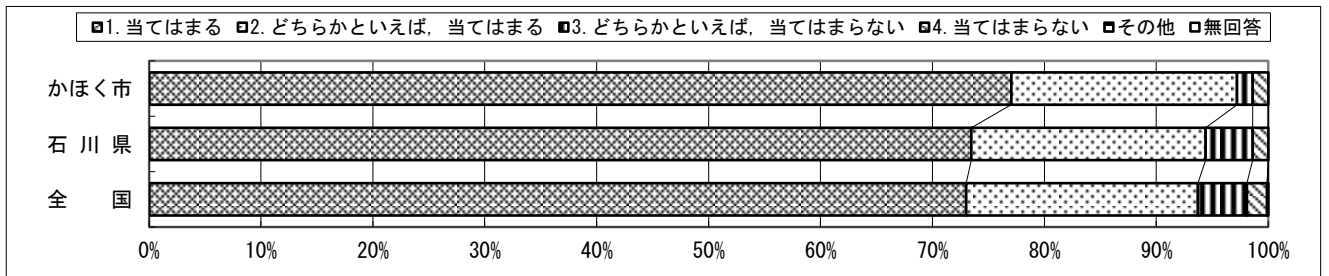
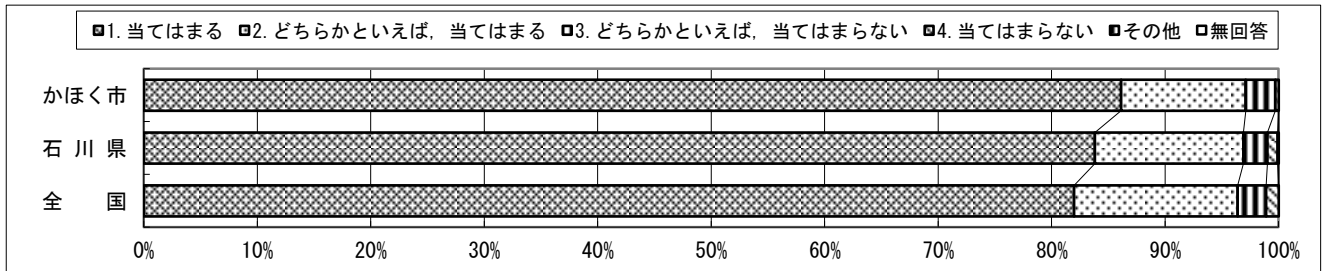
（資料：学校教育課）

図2 平成27年度 全国学力・学習状況調査 質問紙結果(抜粋) (上段:小学校 下段:中学校)

質問1 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



質問2 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



質問3 将来の夢や目標を持っていますか

